



内田 雅人 議員

質問 根拠あるデータを基に住民説明会やアンケート等の積極的な開催を。
町長 削減には反発も予想されるが、説明会やアンケートの実施も有効な手段だ。常に集

質問

公共施設の総量の適正化の手順は

町長

地域と協議し、施設の個別計画を策定していく

質問 公共施設等総合管理計画が策定され、次世代のために町内にある公共施設の総量の適正化、今より3割程度の削減が必要と示された。まちづくりの大きなポイントだ。

各課の連携と、町民の理解、強いリーダーシップが不可欠だが、個別施設ごとの計画を定めていく手順と策定期間は、

町長 施設評価や経費試算が必要となる。審議会にも諮りながら施設の種別ごとに個別計画を策定していく。年内にできる施設もあるが、地域と協議が必要なものも数年を要する。



公共施設の集約化、複合化が必要となる

林業の活性化

約化、複合化できないがチェックし、無理のない形で進める。

質問 山林資源の保全と活用において、現状と課題を問う。
町長 森林資源は充実する一方、木材価格の下落と担い手の減少で停滞している現状だ。

質問 山林をしっかりと産業化されている自治

林の多面的活用を進めるべきだ。

町長 町内産の天然木を使用したアウトドア製品の開発販売など、新たな動きも起こっている。公共建設物の木材利用にも力を入れる。

買い物支援

質問 生活交通サポート券の買い物での利用は拡大しているが、テレビ電話での商品購入は全く定着しない。商品を目の前で見られる状況をいかに作っていくか、やはりその方向性で努力すべきだ。今後の政策は、

町長 今後のテレビ電話システムと、福祉施設を検討する。

教育について

質問 日本一の教育のまちへの理想の状態で、

町長 学ぶ意欲と頑張る力を持つ状態だ。

頑張りを助ける環境を整えるヒットを積み重ねる事が大事だ。

再質問 そのヒットになる具体策を聞いています。

町長 先生が教えやすく子供たちと向き合う時間を増やすことも一つだ。

質問 学校再編、統合についての考えは、子どもたちにとってのベストな選択を求める。教育長 再編が必要との方針は変わらない。地域や保護者との議論と検討を進める。

副町長に聞く

質問 就任され約2ヶ月だが、経験を活かせる方向性は、

副町長 地域資源を活用した観光振興と、次代を担うリーダーを育成し、若者や女性がチャレンジできる環境づくりに取り組む。